

平成 26 年度 第 1 回 二宮町子ども・子育て会議 会議録

会議の概要

| | | |
|--------|---|--|
| 開催日時 | 平成 26 年 6 月 20 日（金）10 時 00 分から 12 時 00 分まで | |
| 開催場所 | 二宮町町民センター 2A クラブ室 | |
| 出席者の氏名 | 委員 | 露木委員、内城委員、山下委員、森本委員、 浜田委員、水島委員、林委員、本荘委員、 鈴木委員、三柳委員、正戸委員、井出委員 |
| | 事務局 | 諸星子育て担当部長、松本子ども育成課長、 神保子育て支援班長、生井主査 |
| 欠席委員 | 中村委員、本間委員、堀尾委員 | |
| 傍聴者 | 4 名 | |
| 議題 | <p>(1) 会議の運営及びスケジュールについて</p> <p>(2) 教育・保育提供区域の設定について</p> <p>(3) 就労時間の下限時間について</p> <p>(4) 量の見込みの推計について</p> <p>(5) 子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>(6) その他（学童保育アンケート結果、基準条例）</p> | |
| 配付資料 | <p>会議次第</p> <p>二宮町子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料 1 子ども・子育て支援新制度作業スケジュール</p> <p>資料 2 教育・保育提供区域の設定について</p> <p>資料 3 就労時間の下限時間について</p> <p>資料 4 量の見込みと確保方策について</p> <p>資料 5 二宮町子ども・子育て支援事業計画 平成 27 年度～平成 31 年度(原案)</p> <p>資料 6 平成 25 年度学童保育にかかるニーズ調査結果</p> <p>資料 7 子ども・子育て支援新制度の施行に向けて町が制定する基準</p> <p>参考資料 1 【25 年度第 3 回会議資料 2】基本指針の主な記載事項</p> <p>参考資料 2 【25 年度第 3 回会議資料 3】二宮町次世代育成支援行動計画 （後期計画）と子ども・子育て支援事業計画の対応項目</p> <p>すくすくジャパン！（子ども・子育て新制度 なるほど BOOK）</p> | |

議事要旨

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----------------------|--|
| 1 開会 | |
| 2 あいさつ | |
| 会長 | この会議も2年目に入った。子育てアンケートの結果を基に子育て世帯の実態を捉え、要望もうかがった。今年度は二宮町にふさわしい子ども・子育て支援事業計画を策定していく。議題（5）の支援事業計画へ反映するためのご意見を伺いたいと考えている。よろしく願います。 |
| 3 自己紹介 | |
| 4 副会長の選出 | |
| | 委員の互選により、三柳委員が副会長に選任される。 |
| 5 議事 | |
| (1) 会議の運営及びスケジュールについて | |
| | 意見等なし |
| (2) 教育・保育提供区域の設定について | |
| 委員 | 二宮町は人口密度が高いことや面積が狭いので、1区域が適当だと思われる。 |
| 委員 | 区域についてはこの会議で決めるのか。 |
| 会長 | そうだ。 |
| 委員 | 一色小学校は、中学区域だと二宮中学校と二宮西中学校に分かれることもあるので、1区域でよいのではないか。 |
| 会長 | 1区域でよいか。 |
| 委員 | 了承 |
| (3) 就労時間の下限時間について | |
| 委員 | 新制度で下限時間を48時間から64時間と幅をもたせたのはなぜか。 |
| 事務局 | これまでは時間制限がなく、各市町村でバラバラに設定していた。しかし、今後は教育・保育を一体的に行っていくので統一を図っていく。今後10年間は市町村の裁量で自由に決めることができるが、いきなり一つの時間に決めてしまうと市町村によっては大幅に変更になってしまうため、ある程度幅をもたせていると考えている。 |
| 会長 | 下限時間は64時間でよろしいか。 |
| 委員 | 了承 |
| (4) 量の見込みの推計について | |
| 委員 | 養育支援訪問事業の数値の根拠について教えてほしい。 |
| 事務局 | 赤ちゃん訪問は原則1回となっているが、2～3回訪問が必要な家庭が1割程度あるため、そこから数値を出している。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----------------------|---|
| 委員 | 単位で「人」と「人日」の違いは何か。 |
| 事務局 | 実人数と延べ人数の違いだ。 補足だが、3号認定については平成27年度から小規模保育を始める等の対応の検討をしている。量の見込みがもう少し詳細に出てきた段階で詰めていきたいと考えている。 |
| 委員 | 「確保の内容」は「量の見込み」の値より高い数値を目指すのか、それとも「量の見込み」の数値と合わせるのか。 |
| 事務局 | 教育・保育で考えると、「確保の内容」の数値の方が高い場合は余裕がある場合となっている。「量の見込み」の数値の方が高い場合は、国は待機児童ゼロを目指しているので、「量の見込み」と「確保の内容」の数値を合わせていく。「量の見込み」がとても高いものについては、利用希望と実績の違いなので調整が必要になってくる。 |
| 委員 | 一時預かりについては、予約が必要だったり金額だったり、制度やシステムの使いづらさがある。使いたいけど使えないという数値もあるということも拾っていただけるとありがたい。 |
| (5) 子ども・子育て支援事業計画について | |
| 委員 | 計画書の構成がわかりにくい。「計画策定の趣旨」に章立てを1部と2部に分けた経過を入れてもいいのではないか。 |
| 会長 | 趣旨はいいと思うが、構成がわかりにくく感じる。 |
| 委員 | 町民が見てわかりやすいものにしていただきたい。 |
| 事務局 | これは行政計画なのでスタイル等を踏襲しなければならない。町民用には別途概要版も作るので、検討する。 |
| 会長 | 参考資料2について、ご意見等いただきたい。 この資料を見ると、いろいろな事業を行っていることがわかる。 現在の次世代育成支援行動計画の基本理念が良い。基本理念についても議論することはあるのか。 |
| 事務局 | ある。 |
| 委員 | いろいろあるが、どこまで言えばいいのか。 |
| 事務局 | あまり細かいものに関しては、後ほど紙でいただいた方がいいと思われる。 |
| 委員 | 子育てサロンが気軽に使えなくなってきた。一時預かりはネットで空き状況等の確認や申し込みができるようになってもらいたい。ファミリー・サポート・センターの料金が高い。病児・病後児保育は必要だ。子育てふれあいトークに人が集まらないのには理由がある。子どもの居場所づくりに関して、ゆうゆうスペースで行っていたものを平日に移したものだと思うが、子どもたちだけで遊ばせるような居場所づくりが必要ではないか。また、回数も少ない。公園でボール遊びができないなど、制限が多い。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-----|--|
| 事務局 | 1つ1つの細かい部分については計画に直接反映させるのは難しいかもしれない。居場所づくりについては、今年度から平日に開催できるようになったところなので、もう少し長い目でみていただきたい。 |
| 委員 | 子どもの居場所として、体育館で大人のいる所で遊ぶということに違和感を感じる。 |
| 委員 | 今の子ども同士の遊びは、何かあると必ず管理責任が問われる。子ども同士で遊ばせたいなら、親同士でつながって場所を提供する方がいいのではないかと。行政に訴えてばかりいると、逆に親が何もしないことにもなる。親同士で連携して行うことも重要だ。 |
| 委員 | そうだが、公園ではボールが使えない等の制限がある。公園フォーラムのようなものを立ち上げて、改善等を行っていいのではないかと。 |
| 委員 | いいテーマだが、この会議の範囲内ではないように思う。 |
| 委員 | 次世代育成支援行動計画の進捗状況から、これまでの事業についてどのように判断していくのか。 |
| 事務局 | 判断に関しては、次回の会議以降で用意し、計画への反映を考えていた。本町の良いところを次期計画にも残していきたいと考えている。 |
| 委員 | 夏休み中のみ学童保育の利用が今はできない。どうにかならないか。 |
| 会長 | 基本目標2～4は、子どもの発達に応じた流れになっているので、一緒にできるといいのではないかと。相談事業が二宮町は充実しているから、これからも続けていただきたい。また、子どもの安全な成長には生活環境の整備が大事だ。子ども育成課が発信源となって、各課にも広げていくといいと思う。昨年台風事故の記憶が鮮明に残っている。安全安心のための環境整備も重要である。 町全体で声かけ運動があったらいいのではないかと。教育委員会の方ではやっている。 |
| 副会長 | 町内会の活動は、安心安全なまちづくりが最も大事だ。そのため、声かけ運動等、連携・協力できるかもしれない。公園のボール遊びに関しては、道路でやっている子どもや親も多い。それで注意をすると、「公園ではしてはいけない」と捉えられてしまうこともある。ただ、「ボール遊びはしないでください」とは書いてある。柵も何もないので危ない面もある。ネットを張る等、遊び場の確保や整備が必要かもしれない。 |
| 委員 | 学童保育として、子どもの行動についての情報収集がとても行いにくい。問題行動や行動の変化等、情報の共有を行い、その子への支援について話し合う場が必要だと感じている。 |
| 委員 | ワークライフバランス等、男親同士のコミュニケーションを取るの難しいので、ネットワークのようなものが計画に盛り込めるといいと思う。 |

| 発言者 | 発言要旨 |
|-------------------------------|---|
| 委員 | 二宮町は自然が豊かなため引っ越してきた人もいるが、自然はただ背景としてしか存在していない。最近自然と子どもが触れ合っていないように感じる。海のある町の特色や危険性も学べると良い。 |
| 委員 | 自然との触れ合いについてだが、最近はダニ等の問題が出てきているので、簡単に山の中を歩くのいいとも言い切れない。気持ちだけではなかなか動けない時代になってきている。 |
| 会長 | 特色ある学校というのは残していった方がいいのではないか。 |
| 事務局 | いただいたご意見は、今後の参考にする。 |
| (6) その他(学童保育アンケート結果、基準条例)について | |
| 委員 | 二宮学童保育は、時間延長や土曜開所を行う。 |
| 委員 | 他の学童保育は土曜日の開所等はあるか。 |
| 委員 | 声は上がっているが、人件費等の問題もあり検討中だ。 |
| 6 閉会 | |